

通行量・来街者

静岡商工会議所は、静岡市や商店街等の協力を得て、2019年11月24日(日)に静岡・清水両地域で中心市街地の通行量・来街者調査を実施しました。主な結果は以下の通りです。

調査結果



静岡地域中心市街地通行量調査概要

調査日時	2019年11月24日(日) 10:00~17:00				
調査地点	全80地点	◆ JR静岡駅周辺	◆ 紺屋町	◆ 呉服町	◆ 七間町
		◆ 追手町	◆ 御幸町	◆ 伝馬町	◆ 鷹匠
		◆ 駿府町	◆ 馬場町	◆ 宮ヶ崎町	◆ 南町
	※ 横断歩道上の通行者数のみを計測する補完的調査2地点は、他と条件が異なるため、全地点合計の集計には含まれていない。				
調査対象	小学生以上の歩行者				
気象状況	晴れのち曇り(日照時間は4時間だが暖かな1日であった) 当日の気温 ※静岡地方気象台調べ [最高気温] 23.5℃ [最低気温] 17.3℃ [平均気温] 19.9℃ (平年12.3℃)				

総通行量

総通行量は前年度より減少

1996(H8)年度から継続して調査を実施している58地点の総通行量は379,204人(対前年度比22.117人、5.5%減)で、前年度を下回る結果となった。(表1) また、補完的調査2地点を除く全78地点の総通行量についても441,348人(対前年比28.883人、6.1%減)と、前年度を下回った。

通行量の年度比較 (表1)

年度	通行量(人)	指数
2014(H26)年度	373,808	100.0
2015(H27)年度	341,718	91.4
2016(H28)年度	354,424	94.8
2017(H29)年度	378,151	101.2
2018(H30)年度	401,321	107.4
2019(R1)年度	379,204	101.4

- 通行量(人)は、1996(H8)年度から継続調査している58地点の通行量の合計
- 指数は5年前の2014(H26)年度を100とした数値

地点別通行量

「パルシェ前中央地下道」が4年連続のトップ

地点別(歩道両側合計)で最も通行量が多かったのは「パルシェ前中央地下道」の30,412人で、以下「新静岡セノバ前 南口モール」の27,179人、「紺屋町/静岡パルコ前」の22,313人、「松坂屋前 中央地下道」の21,685人、「静岡モディ入口前(けやき通り側)」の20,844人の順となった。(表2)

なお、1996(H8)年度から継続して調査を実施している58地点の地点別の通行量増減をみると、

調査地点	通行量(人)	順位	
		2019(R1)年度	2018(H30)年度
パルシェ前 中央地下道	30,412	1	1
新静岡セノバ前 南口モール	27,179	2	2
紺屋町/静岡パルコ前・トラヤ前	22,313	3	5
松坂屋前 中央地下道	21,685	4	4
静岡モディ入口前(けやき通り側)	20,844	5	3
呉服町/スターバックス・呉服町通り店前・サカサ前	20,140	6	6
呉服町/三保原屋前・100えんパルシェ/呉服町店前	18,876	7	8
紺屋町/オアシスコヒ-静岡紺屋町前・クボ-ホール会館前	17,876	8	7
国道横断 ななめ地下道	16,964	9	9
唐木屋薬局前・安心堂本店前	14,271	10	13

前年度より増加したのは25地点、減少したのは33地点で、増加地点は前年度より19地点増えた。また、全78地点の地点別の通行量増減は増加33地点、減少45地点で、増加地点が前年度より25地点減った。

時間帯・男女別通行量

通行量のピークは「14時~15時」

通行量がピークとなる時間帯をみてみると「14時~15時」が73,211人で最も多く、次いで「15時~16時」が72,409人、

「13時~14時」が67,162人の順となった。男女別にみても、ほぼ同じ結果で「13時~16時」の間の通行量が多かった。

全時間帯の男女比では男性41.1%、女性58.9%と例年とほぼ同様の傾向であった。(表3)

時間帯 性別	時間帯							合計 (比率)
	10時~11時	11時~12時	12時~13時	13時~14時	14時~15時	15時~16時	16時~17時	
男性	17,184	23,150	26,978	27,900	29,702	29,141	27,383	181,438 (41.1%)
女性	23,859	33,005	38,140	39,262	43,509	43,268	38,867	259,910 (58.9%)
合計	41,043	56,155	65,118	67,162	73,211	72,409	66,250	441,348

商店街ブロック別通行量

6ブロック中5ブロックで
前年度を下回る

中心市街地を紺屋町(地点数6)、呉服町2丁目(地点数6)、呉服町1丁目(地点数3)、七間町(地点数6)、御幸町(地点数6)、伝馬町(地点数3)の6つのブロックに分けて通行量を前年度と比較すると、呉服町(1丁目)ブロックで前年度の通行量を上回り、紺屋町・呉服町(2丁目)・七間町・御幸町・伝馬町の5つのブロックで前年度の通行量を下回った。(表4)

商店街ブロック名	2019(R1)年度		2018(H30)年度		2017(H29)年度	
	通行量(人)	平均(人)※	通行量(人)	平均(人)※	通行量(人)	平均(人)※
紺屋町(6地点)	53,630	8,938	54,624	9,104	49,780	8,297
呉服町2丁目(6地点)	52,287	8,715	54,070	9,012	51,627	8,605
呉服町1丁目(3地点)	11,056	3,685	10,663	3,554	9,351	3,117
七間町(6地点)	12,815	2,136	14,269	2,378	11,719	1,953
御幸町(6地点)	23,281	3,880	24,165	4,028	22,458	3,743
伝馬町(3地点)	7,092	2,364	7,243	2,414	9,182	3,061
合計	160,161	5,339	165,034	5,501	154,117	5,137

※平均:各商店街ブロックにおける1地点当たりの通行量(紺屋町については地下街を除く)

交通拠点からの人の流れ

4方向で通行量が減少

JR静岡駅北口からは、歩行者は地下道を利用して御幸町方面「松坂屋前中央地下道」へ53.5%(10,428人)、紺屋町方面「国道横断ななめ地下道」へ46.5%(9,069人)の人が流れた。

静岡鉄道新静岡駅からは、南口方面「新静岡セノバ前南口モール」へ74.8%(13,963人)、北口方面「ペガサート北街道側」へ16.2%(3,016人)、鷹匠方面「越後屋ビル前・薬科銘茶杉山園前」へ9.0%(1,690人)の人が流れた。

両交通拠点からの人の流れは、2015(H27)年度以降ほぼ同様の結果であった。(表5)

交通拠点	通行方向	2019(R1)年度	2018(H30)年度	2017(H29)年度	2016(H28)年度	2015(H27)年度
		人数(比率)	人数(比率)	人数(比率)	人数(比率)	人数(比率)
JR静岡駅北口 (計19,497人)	御幸町方面 [松坂屋前中央地下道]	10,428人(53.5%)	11,167人(51.8%)	10,021人(50.2%)	9,764人(50.5%)	9,966人(56.2%)
	紺屋町方面 [国道横断ななめ地下道]	9,069人(46.5%)	10,403人(48.2%)	9,961人(49.8%)	9,577人(49.5%)	7,752人(43.8%)
静岡鉄道新静岡駅 (計18,669人)	南口方面 [新静岡セノバ前南口モール]	13,963人(74.8%)	14,894人(77.4%)	14,084人(78.6%)	11,285人(73.7%)	11,928人(74.6%)
	北口方面 [ペガサート北街道側]	3,016人(16.2%)	3,069人(16.0%)	2,704人(15.1%)	2,268人(14.8%)	2,201人(13.8%)
	鷹匠方面 [越後屋ビル前・薬科銘茶杉山園前]	1,690人(9.0%)	1,266人(6.6%)	1,133人(6.3%)	1,756人(11.5%)	1,851人(11.6%)

静岡地域中心市街地主要地点通行量

